

国立新美術館 2027 年企画展スケジュール

Exhibition Schedule for 2027 from The National Art Center, Tokyo

美術館は、時代や地域、価値観の違いを超えて、人々が新たな視点と出会う場です。情報や文化がかつてない速さで行き交う今日だからこそ、作品と向き合い、他者の経験や想像力に触れる機会の意義はますます高まっています。

2027 年、国立新美術館は開館 20 周年という節目を迎えます。これまでの軌跡を振り返る記念展をはじめ、「ディーヴァ展」が示す創造性と社会的影響力の歴史、「ギルバート&ジョージ展」による半世紀以上にわたる実践、そしてリヒテンシュタイン侯爵家コレクションを紹介する展覧会など、いま東京で見るべきプログラムを予定しています。これらの展覧会は、歴史的な名品や現代の先鋭的な作品の数々と出会う機会であるとともに、芸術が社会とどのように関わり、人々の考え方や生き方に影響を与えてきたのかを見つめ直す機会となるでしょう。

開館以来、国立新美術館はアートセンターとして、自由で開かれた活動をしてきました。その精神を受け継ぎながら、これからも多様な表現や価値観が交わる場を育み、芸術を通じた対話と発見を皆さまと分かち合っています。2027 年の展覧会にどうぞご期待ください。

国立新美術館長 菅谷富夫



オペラ「椿姫」(1958 年上演) でヴィオレッタ役を演じるマリア・カラス

Houston Rogers © Victoria and Albert Museum, London



草間彌生《トラヴェリング・ライフ》

京都国立近代美術館蔵 撮影：上野則宏



ディーヴァ展

会期：2027 年 3 月 24 日（水） - 7 月 19 日（月・祝）

主催：国立新美術館、ヴィクトリア&アルバート博物館、ソニー・ミュージックエンタテインメント

会場：国立新美術館 企画展示室 2E

19 世紀から現代にいたるディーヴァの歴史を見つめ、その圧倒的な創造性、社会的な影響力、文化的意義を考察する展覧会です。オペラ、舞台芸術、映画、ポピュラー音楽の世界で活躍してきたパフォーマーたち約 100 名を紹介します。ディーヴァが実際に身に着けた約 60 点の貴重な衣装を中心に、写真、映像、雑誌、ポスター、LP など多彩な作品を通し、フェミニズムの歴史と関連して「ディーヴァ」という概念が時代とともにどのように変化してきたかを探ります。

「歌声」に包まれる特別な鑑賞体験も本展ならではの魅力です。

国立新美術館 開館 20 周年記念展（仮称）

会期：2027 年 4 月 21 日（水） - 7 月 26 日（月）

主催：国立新美術館

会場：国立新美術館 企画展示室 1E

2007 年の開館以来 20 周年の節目を迎える国立新美術館が、これまで開催した全 140 に及ぶ展覧会の中で紹介しているアーティストの試みに光を当てます。世界のことわりを示す

6 つの疑問詞—who, where, when, what, how, why—をキーワードに、

19 世紀から現代まで、様々な時代においてアートの枠組みを広げてきた表現を見つめ直し、絶え間ない変化の中にある多様で複雑な世界を映し出す珠玉の作品を紹介します。

本展の出品作品はすべて全国の国立美術館が長い時間をかけて収蔵を続けてきた作品からのハイライトでもあります。

ギルバート&ジョージ展

会期：2027 年 9 月 17 日（金） - 12 月 20 日（月）

主催：国立新美術館、ソニー・ミュージックエンタテインメント

会場：国立新美術館 企画展示室 2E

英国ロンドンを拠点に「Art for All（すべての人にアートを）」を追求するギルバート&ジョージの活動を紹介します。自らを「生きる彫刻」と称し、全身に多彩色メタリックの顔料を塗りテーブル上でミュージック・ホールの定番曲を歌って踊る傑作《歌う彫刻》の映像から、宗教やセクシャリティ、都市生活などをテーマにした近年の巨大な写真グループ「ピクチャーズ」までを一挙に展観します。

リヒテンシュタイン侯爵家コレクション 西洋美術における古代

会期：2027 年 9 月 8 日（水） - 12 月 6 日（月）

主催：国立新美術館、リヒテンシュタイン侯爵家コレクション、東映

会場：国立新美術館 企画展示室 1E



国立新美術館について

国立新美術館は、芸術を介した相互理解と共生の視点に立った新しい文化の創造に寄与することを使命に、2007 年、独立行政法人国立美術館に属する 5 番目の施設として開館しました。以来、コレクションを持たない代わりに、あらゆる国や地域の人々がさまざまな芸術表現を体験し、学び、多様な価値観を認め合うことができるアートセンターとして活動しています。具体的には、国内最大級の展示スペース（14,000 m²）を生かした多彩な展覧会の開催や、美術に関する情報や資料の収集・公開・提供、さまざまな教育普及プログラムや国際文化交流の実施に取り組んでいます。

来館のご案内

独立行政法人国立美術館 国立新美術館

〒106-8558 東京都港区六本木 7-22-2

<https://www.nact.jp>

一般の方のお問い合わせ：TEL 050-5541-8660（ハローダイヤル）

開館時間

10:00～18:00 企画展会期中の毎週金・土は 20:00 まで

（入場は閉館の 30 分前まで）

休館日

毎週火曜日（ただし火曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌平日に休館）、年末年始

アクセス

東京メトロ千代田線乃木坂駅

青山霊園方面改札 6 出口（美術館直結）

東京メトロ日比谷線六本木駅 4a 出口から徒歩約 5 分

都営地下鉄大江戸線六本木駅 7 出口から徒歩約 4 分

※美術館に駐車場はございません

広報用画像

プレス画像は、こちらの URL より申請、ダウンロードいただけます。

本プレスリリースに記載のクレジットを必ず明記してください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/BfGr6akjAN>

プレスリリースお問い合わせ：国立新美術館 広報室

Email: pr@nact.jp